

# 都市計画たより

令和6年度版



宇都宮市 Light Rail Transit と駅前再開発

目次

はじめに . . . . . 1

令和6年度 都市計画検討グループの活動内容 . . . . . 1

令和6年度 都市計画検討グループ総会及び講習会 報告 . . . . . 2

令和6年度 第34回 建設コンサルタンツ協会業務技術発表会 報告 . . . . . 4

令和6年度 都市計画検討グループ WG活動報告 . . . . . 5

- ・都市整備WG . . . . . 5
- ・交通WG . . . . . 8
- ・ランドスケープWG . . . . . 11

■参考1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型） . . 14

■参考2：令和6年度 都市計画検討グループ会員及び各企画参加人数（会社数） . 15

おわりに . . . . . 15

- あ・と・が・き（委員からの一言） . . . . . 16
- 告知 . . . . . 19

都市計画委員会及び3ワーキング（WG）の位置づけ



【表紙写真】

撮影場所：宇都宮市駅前広場

## はじめに

平素から、都市計画検討グループ活動に対して、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度の活動は、「総会」と併せて、『皆さんと描く！これからの地域公共交通の理想の姿』と題して、名城大学の松本幸正教授の監修のもと、参加者のみなさまとディベート大会を実施しました。初めての試みでしたが、専門としている分野を超えて活発な議論でき、アンケートの満足度もすべての方が満足と評価がありました。

そして、11月に3つのワーキング活動を実施し、多くの会員の皆様に、ご参加いただきました。

会員の皆様のご協力・ご参加により、令和6年度の活動も無事終了しましたこと、心より感謝しております。また、都市計画委員の皆様におかれましては、業務多忙の中、各ワーキング企画を実現いただき、本当にありがとうございました。

今年度の講習会や見学会などの活動した内容を「都市計画たより」としてとりまとめましたので、ご高覧いただくとともに、来年度の活動の参考としていただき、ご意見等いただければ幸いです。

来年度も、皆様からの要望を踏まえて、「仕事の役に立つ魅力的な企画」を検討していきます。奮ってのご参加をお待ちしておりますので、引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

都市計画委員長 河村和紀

## 令和6年度 都市計画検討グループの活動内容

令和6年度は、下記の通り「会員参加型企画」及び「委員会活動」を実施しました。

### 1. 会員参加型企画

- 総会・ディベート大会（7月16日）…………… 62名（19社）
- 都市整備WG講習・見学会（11月22日）…………… 29名（13社）
- 交通WG講習・見学会（11月29日）…………… 25名（13社）
- ランドスケープWG講習・見学会（11月8日）…………… 30名（13社）

### 2. 委員会活動

- 愛知県震災復興都市計画模擬訓練：アドバイザー派遣（9月）
- 業務技術発表会運営支援（10月）
- 建設コンサルタントフェア2024 in 中部（10月）
- 建設技術フェア2024 in 中部 学生交流ひろば対応（11月）
- 発注者意見交換会（11月～12月）
- 都市計画委員会（全8回、4月～12月）

# 令和6年度 都市計画検討グループ総会及び講演会 報告

## I. 開催日程等

日 付：令和6年7月16日（火）14:30～17:00

場 所：名城大学天白キャンパス（集合形式）

参加者：62名 19社

## II. 総会の概要

- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| 1. 開会                      | 【藤本副委員長】       |
| 2. 都市計画委員長挨拶               | 【河村委員長】        |
| 3. 令和6年度都市計画委員の紹介          | 【河村委員長】        |
| 4. 令和5年度活動報告と令和6年度活動計画（案）  | 【河村委員長】        |
| 5. 令和6年度WG活動方針（案）          | 【各委員】          |
| 6. 令和5年度決算報告と令和6年度予算（案）の説明 | 【岡部副委員長】       |
| 7. 講習会                     | 【名城大学教授 松本幸正氏】 |
| 8. 閉会                      | 【河村委員長】        |

### ●令和6年度の活動計画

**テーマ**：都市計画を取り巻く動き、新しい情報の提供

**活動方法**：WG活動を主体にニーズに対応した見学会、講習会等の開催と交流の深化

**合同WG**：複数のWGや他の技術検討グループとの合同開催

都市計画検討グループの目的は「技術研鑽」と「技術者相互の交流」です。技術の研鑽を目標にして各グループ部員が集まり、お互いの交流の輪が広がる場づくり、学識経験者、官公庁、他の団体とも積極的に交流の場づくりができるように進めました。

令和6年度は、より多くの技術交流が図られるように、直接交流形式による活動を主体とし、現場の空気感と交流による熱量が感じられる活動としました。

### ●令和6年度の各ワーキング別会員数

各WGとも、会員数は前年度の人数を上回り、合計257名となりました。ありがとうございました！

#### ワーキング別会員数

ワーキング	令和6年度	令和5年度	増減数
都市整備WG	128名	110名	18名増
交通WG	73名	73名	0名増
ランドスケープWG	56名	54名	2名増
合計	257名	237名	20名増

### Ⅲ. 講習会

#### 1. 目的

講習会は、「技術者相互の交流」を積極的に行うため、講習会に加え、グループワークを行います。今年度は名城大学の松本教授をお迎えし、これからの都市計画と交通の在り方をテーマに講演会を行なっていただいた後、参加者全員でグループワークを行います。これは、一方的に話を聞いて終わりではなく、技術者同士で意見を出し合うことで、新たな気づきを生み、松本教授にコーディネートいただくことで、今後の知見として生かせるような、場にしたいと考えました。

#### 2. 概要

テーマ：『皆さんと描く！これからの地域公共交通の理想の姿』

講師：教授 松本 幸正氏

- ・名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科
- ・博士（工学）
- ・技術士（総合技術監理部門）
- ・技術士（建設部門-都市及び地方計画/道路）
- ・1966年 三重県生まれ



#### 3. 公演項目

- (1) 講演会（15：00～15：30）
- (2) グループワーク・ディベート（15：30～16：30）
- (3) 発表・講評（16：30～17：00）

#### 4. グループワークの様子

グループワークは、全6班、各10人/班の構成で、班内でライドシェアの「推進派」と「反対派」に分かれ、ディベートを行いました。班内でディベートによるプレゼンで、判定員が納得した方を優位グループと判定し、その代表者がディベート内容を発表しました。

##### ■6班のライドシェアのディベート結果

- ・論議1：タクシーはドライバー不足でマッチングしない。予約不成立に對してのマッチング確率1/5000→それよりライドシェアで運転手を確保
- ・論議2：ライドシェアはタクシーよりも金が1/4安い。（乗合なので分散できる）

- ・論議3：運転免許をもっていれば、すでに、新しい職業として参入し、運転免許は8140万人（17歳以上の人口の約4割）保有している。将来的にタクシー通がなくなってしまうのはいけない。

- ⇒反対派反論③
- ・タクシーのデータがないが、日本のタクシーは3000件である。増えている。
- ・1/4は補助金ありの価格。補助金を活用しない。将来的にタクシー通がなくなってしまうのはいけない。

##### 【推進派意見】

##### ■6班のライドシェアディベート結果

- 反対派立論②（不要・反対です）
- ・論議1：安全性の面で課題あり。アメリカの事例（2020年）だと、性犯罪3000件起っている。その中で被害者20件。
- ・論議2：民衆（タクシー）の圧迫。ライドシェアが増加すると、別の公共交通の利用者が大きく減る。アメリカでは営業許可証が先買できるが2014年で当初の1/6の価値しかない。

- ⇒反対派反論①
- Q：タクシーでも同様の事件起きていないの？
- A：ふっふっ。
- Q：地方とかタクシーが少ないところは民衆の圧迫にならないの？
- A：タクシー会社が無くなってしまおうと、、、

- ⇒反対派反論②
- ・内閣府のデータでは、ライドシェアもタクシーも事故件数の差はない。少量輸送なら、利用者目線ではどちらもいい。タクシーである必要はない。

##### 【反対派意見】

##### ■6班 理想の公共交通の姿（ライドシェア賛成派）

- 安全性の確保に向けて
- ・透明性（ドライバー情報、事故歴などを公表）
- ※安全であることが、市民に分かってもらえないと使わない。
- ・ドライバーを守る（利用者の安全なお断りができる仕組み）
- ※カスタマーハラスメントを避けられる仕組み

- 使い勝手を良くするための都市形
- ・移動の時間がかかるため、利用率が高くなるように集約型がいい。
- ・自動車と歩行者が共存する形はどうか。
- ・駅前はウォークアブルで、車道も歩けるまちづくり。ウォークアブルといつつ、車（ライドシェアが使いやすい空間）も利用できる空間がよい。

- 郊外の使い方
- ・郊外に拠点をつくり、そこからライドシェアをする。

- 既存の公共交通
- ・日本の公共交通は安全性が高い。
- ※海外だと流しのタクシーは怖い。ライドシェアの方が料金が明朗。
- ・田舎の公共、本数少ない、遅れてくるなどのイメージの払しょく



▲盛り上がる会場の様子



▲お決まりの集合写真

## 令和6年度 第34回 建設コンサルタンツ協会業務技術発表会 報告

10月22日（火）に「ウインクあいち」にて業務技術発表会を開催しました。今年度は、従来どおりの集合形式での発表会でした。

業務技術部門【河川・都市計画部門】では10編の発表があり、5編発表した都市計画分野から、最優秀賞1編、優秀賞1編の受賞がありました。

### ◆ 最優秀賞

人口減少が進む地方都市における財政負担軽減と活力向上を  
目的とした公共施設の適正規模・適正配置の検討

日本工営都市空間株式会社

渡邊 菜々子氏



### ◆ 優秀賞

自動運転を支援する路車協調システムの有効性に関する評価  
検証

パシフィックコンサルタンツ株式会社

高村 真一 氏



### ◆ 発表論文

- 地域資源を活用した国営公園再整備  
…………… 瓜生 千晴（日本工営都市空間株式会社）
- 人口減少が進む地方都市における財政負担軽減と活力向上を目的とした公共施設の  
適正規模・適正配置の検討  
…………… 渡邊 菜々子（日本工営都市空間株式会社）
- 災害リスクを踏まえた居住誘導区域のあり方と防災・減災の実現に向けた取組の検討  
…………… 岩瀬 大真（中央コンサルタンツ株式会社）
- 自動運転を支援する路車協調システムの有効性に関する評価検証  
…………… 高村 真一（パシフィックコンサルタンツ株式会社）
- 国道19号桜通における歩道空間の再編による賑わいの創出  
—愛知県岡崎市を対象として—  
…………… 百合 昭太（株式会社建設技術研究所）

令和7年度は、10月28日（火）に「ウインクあいち」にて開催いたします。4月から募集が始まりますので、奮ってのご参加お待ちしております！

## 都市整備WG

### I. 開催日程等

日 時：令和6年11月22日（金）10:30～16:30

場 所：講習会：TKP 宇都宮カンファレンスセンター

見学会①：トナリエ宇都宮交通未来都市うつのみや「オープンスクエア（3F）」  
ライトライン見学ツアー（LRT 乗車体験、車両基地見学）

見学会②：宇都宮市都心部まちなか散策

テーマ：ネットワーク型コンパクトシティを積極的に進めている宇都宮市において、  
将来ビジョンの描き方や具体的なまちづくりの進め方などを学ぶ

講 師：宇都宮市NCC推進課職員 総括 荒井英幸 氏、総括 佐藤慎太郎 氏

参加者：29名（13社）

### II. 活動概要

多くの都市が、都市機能を集めた都市拠点・生活拠点を交通ネットワークで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市構造の形成を目指すなか、その具体的な取組については都市の実情に合わせて様々であり、費用・投資に見合った十分な効果を発揮することが求められます。そこで、ネットワーク型コンパクトシティを積極的に進めている宇都宮市において、将来ビジョンの描き方や具体的なまちづくりの進め方などを学ぶため、講習会・見学会を交通WGと合同で開催しました。

最初に、宇都宮市 NCC 推進課の総括・荒井英幸氏、総括・佐藤慎太郎氏を講師に、「まちづくりと公共交通が連携した宇都宮市の取り組み」として講習会を行いました。

宇都宮市は、平成20年に全国に先駆けてネットワーク型コンパクトシティ（NCC）を位置づけ、令和5年8月に開業した国内初の全線新設LRT「ライトライン」は、想定を大きく上回る利用者数のほか、沿線の人口5,000人増加、事業化確定以降の沿線の地価上昇、工業団地への活発な企業投資などの効果が発現しています。合わせて、住みたい街、子育てしやすい街などで上位にランキングされるなど、宇都宮市の都市イメージも高く評価されています。

講習会では、ライトライン整備の経緯や概要・効果だけでなく、宇都宮市の目指すまちづくりの考え方や各種計画、NCC実現に向けた都市機能・居住誘導の独自制度、ライトラインを基軸にした公共交通網整備の取組、駅東口整備事業とライトライン沿線のまちづくり、今後予定する駅西側へのライトライン延伸とまちづくりについて説明があり、質疑応答の時間では、都市整備・交通の両視点から活発な議論がされました。



▲JR 宇都宮駅とライトライン



▲講習会の様子

#### 質疑応答の内容（一部抜粋）

Q これから進める駅西側のまちづくりで、市民の反対や市民が考える課題は？

A 駅東側のライトラインが整備され、その効果が見えたことでライトライン延伸の抵抗はなくなった。一方で、まちづくりのイメージ共有はしやすくなったが、ウォークラブルなまちづくりを進めるにあたり、車両を制限するなかでの賑いづくりや渋滞対策について不安がある。

Q ライトライン沿線の人口増加は市内の移動か？属性はわかるか？

A 推測もあるが、東京までの新幹線通勤も可能なため、市外からの転入が多いと感じている。

午後からは、商業施設トナリエ宇都宮の3F「交通未来都市うつのみやオープンスクエア」にて、ライトラインの概要と見学ツアーの説明を聞いた後、JR宇都宮駅の東口まで移動し、JR宇都宮駅から平石停留所までのライトラインの乗車体験を行いました。

午前中の講習会で説明をうけた駅東口およびライトライン沿線のまちの様子やトランジットセンターの整備状況、見学ツアーの説明で聞いた「雷都を未来へ」(芳賀・宇都宮は雷が多く「雷都」と呼ばれている)というコンセプトを踏まえた低床車両や停留所・サインなどトータルデザインや実際に使っている人の様子を見ることができました。また、乗車体験中には参加者それぞれが疑問点等についてガイドさんに質問し、興味深い話が伺えました。



▲ライトライン見学ツアー



▲停留所のデザイン



▲車内の様子



▲車両デザイン



▲平石停留所・車両基地

その後、見学会②として「都心部まちづくりビジョン～LRTを基軸とした公共交通と一体となった都心部の更なる活性化に向けて～」を参考にしたまちなか散策を参加者各自で実施し、その内容をアンケート形式で報告してもらいました。まちなか散策は、これからライトライン延伸を予定する駅西側のまちの様子を見学したり、ライトラインに再度乗車し駅東側のまちづくりの様子や夕方のラッシュ状況を確認したり、終点の芳賀・高根沢工業団地駅まで乗車するなど、参加者の様々な活動の様子が伺えました。

今回の講習会・見学会を通じて、ライトライン整備を契機に大きく変化した宇都宮駅東口と沿線の街の様子、その整備効果として、人の流れや民間投資が街の中心部に集まったこと、さらに、ライトラインの整備効果とイメージ向上が、これから進める駅西側のまちづくりのイメージ共有に寄与していることなどを実感することができました。

参加者へのアンケートでは、講習会・見学会に対し「ライトライン整備だけでなく、ライトラインと合わせたまちづくり全般について聞けてよかった」「午前の講義と午後の現地視察が連携して有意義だった」とのご意見を頂きました。また、自由散策とした都心部まちづくり見学の時間についても、「講義にあった西側のライトライン延伸前の状況を見たかった」など、各自が目的をもって見学した様子が伺えました。興味・関心のあるテーマも挙げていただいたので、次年度の活動に活かしていきたいと思っております。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### Ⅲ. 参加者アンケート結果

#### 1. アンケート概要

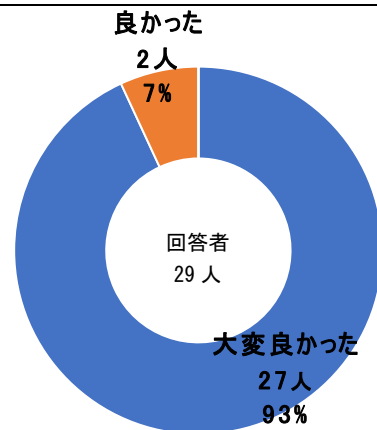
- (1) 対象者 : 視察参加者 29 人
- (2) 回収票数 : 29 人 (回収率 100%)

#### 2. アンケート結果 (抜粋)

【問】講習会・見学会の内容に対する満足度

- すべての参加者に満足感を得ていただけた。また、9割以上が「大変良かった」と回答している。
- 満足感を得られた理由としては主に以下が挙げられている。
  - 座学と視察のリンクによって理解度が高まり、まちづくりを実感できたこと
  - 事業を担当した職員の生の声を聞くことができたこと
  - 講義において質疑応答の時間が十分に確保されていたこと
  - 視察・研修に参加することで宇都宮市を訪れる機会を得られたこと

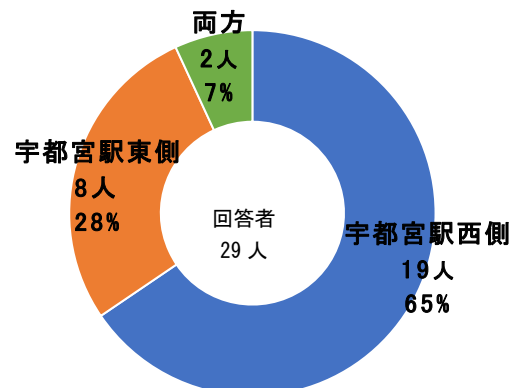
選択項目	回答者数	構成比
大変良かった	27	93%
良かった		
悪かった	0	0%
非常に悪かった		
計	29	100%



【問】「都心部まちづくり見学」で見学した場所

- 見学ツアーで見ることのできなかつた宇都宮駅東側を見学した方が 19 人 (65%) となっている。
- 見学ツアーで訪れた平石駅以東を含めた宇都宮駅東側を改めて見学した方が 8 人 (28%) となっている。

選択項目	回答者数	構成比
宇都宮駅西側	19	66%
宇都宮駅東側	8	28%
両方	2	7%
計	29	100%



## 交通WG

### I. 開催日程等

日 時：令和6年11月29日（金）13:30～17:00

場 所：講習：奥の細道むすびの地記念館 多目的室

見学：上記会場～JR大垣駅（船町ベース、ミドリバシ、丸の内公園、大垣駅通り）

テ ー マ：大垣市周辺における交通再編計画（地方鉄道養老線の再生・駅周辺エリアの活性化）

講 師：一般社団法人 養老線管理機構 総務企画課 高田雅章 氏、日比野高宏 氏

大垣市役所 都市計画部 交通政策課 西村孝英 氏、西川智樹 氏

大垣市役所 都市計画部 都市計画課 桐山知弘 氏、安藤祥太 氏

参 加 者：25名（13社）

### II. 活動概要

地方都市では人口減少や少子高齢化、感染症の拡大等の社会情勢の変化により、地域公共交通の利用者の減少やまちなかの活力低下が問題になっています。大垣市では、こうした問題を解決するため、養老鉄道養老線を主軸とした公共交通ネットワークの形成や「歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）」を活用した駅周辺エリアの活性化などに取り組まれています。そこで、これらの取り組み内容や効果等を大垣市及び交通事業者と学ぶ講習会・見学会を開催しました。

講習会に先立ち、名古屋市内に勤務する一部の参加者は、桑名駅から大垣駅まで養老線に乗車して会場に足を運ばれました。沿線2県3市4町を結び養老線は、年間約580万人が利用しその半数を通学定期利用が占めており、沿線地域にとって欠かせない生活路線となっています。講習会は、「地方鉄道 養老線の再生」を1つ目のテーマとしてスタートしました。養老線管理機構の高田様、日比野様から、養老線の事業形態の変遷、沿線市町が当機構を設立した背景、鉄道事業再構築事業に基づく公有民営方式による事業形態スキームなどについて説明がありました。大垣市交通政策課の西川様からは、養老線交通圏地域公共交通網形成計画の概要や進捗状況、養老線の利用促進・増収策に関する取り組みについて、お話をいただきました。

沿線2県3市4町、養老線管理機構、養老鉄道が連携して養老線の維持・利便向上に取り組んできた結果、令和5年度の輸送人員は前年度と比べて28.6万人(+5.2%)増加し、年間利用者数と利用者満足度は計画目標値を上回っています。また、沿線高等学校等の生徒の2割強の通学を養老線が支えており、その割合は増加傾向にあるとのこと。



▲養老鉄道養老線と車窓風景



▲講習会場 奥の細道むすびの地記念館



▲講習会の様子

最後に、大垣市交通政策課の西村様から、改正地域交通法施行後の鉄道事業再構築実施計画のポイントを説明いただいたうえで、講師と参加者で意見交換を行いました。「再構築事業は社会資本整備総合交付金の縛りが厳しく万能ではない」、一方「これまでできなかった投資ができるという面で画期的だ」などの意見が交わされました。

続いて、「駅周辺エリアの活性化」をテーマとして、大垣市都市計画課の桐山様、安藤様から取組事例の紹介や現地案内を行っていただきました。

まず、コロナ禍をきっかけに始まった「まちなかテラス(まちテラ)」の取り組みを紹介いただきました。ほこみち制度を使い、駅通り等の「みち」を機として、広場、公園、水辺の活用をワンストップで実施して、エリア一体的な回遊性の創出に取り組まれています。市が占有・使用主体になることで、スピード感のある対応を可能にしています。実施主体の(一社)大垣タウンマネジメントは、商店街メンバーが中心となって、費用負担を抑えて自走可能な組織形成に努めています。例えば、エリア内に設置された木製什器は、メンバーの建築士が製作されたそうです。

次に、水都大垣のブランド化を目的に令和5年度に始動した「水都大垣再生プロジェクト」について、かわまちテラス(かわテラ)や井戸舟整備の紹介がありました。今後はクラウドファンディングも活用し、水門川遊歩道 四季の路の再整備が推進されます。

現地見学では、四季の路に沿って、老舗菓子製造販売企業がかつての船町湊の賑わい創出のために立ち上げた「船町ベース」、古民家を改修したシェアスペース「ミドリバシ」、新市役所の「丸の内公園」、大垣城のある「大垣公園」、ほこみち指定の「大垣駅通り」、大垣駅南街区広場「水都の泉」を巡りました。駅通りでは、沿線店舗から「ほこみち制度」活用の効果の声が聞かれました。講習会で学んだことを、実際に現地で体験でき、大変有意義な時間となりました。

#### 【質疑応答(抜粋)】

養老線

- Q. 養老線管理機構(第三種鉄道事業者)を設立した際、民間ノウハウをどう引き継いだか？
- A. 近畿日本鉄道(当時の事業者)にノウハウや進め方を教えていただきながら事業を進めている。
- Q. 養老線の満足度が高まっている理由は？
- A. 利用促進施策(デジサイ設置など)や環境美化対策等が効いていることが想定される。



▲ミドリバシ



▲丸の内公園



▲水都の泉・水都タワー(集合写真)

Q. 大垣タウンマネジメントへの委託内容は？

A. 出店者調整・毎週の木製什器の設置・ポータルサイト運営の3つ。

Q. 集客への取組内容は？

A. 駐車場～桜の有名スポットまでの経路上でイベントを開催。自動的に集客できる仕組み。

講習会・見学会を通じて、地方鉄道 養老線の利用促進の取り組みや、ほこみち制度を活用したエリア一体的な回遊性の創出の取り組みについて学ぶことができました。一方、コロナ禍からの養老線利用者の回復、コロナ収束後の転換期にあるまちテラの取組改善などの課題があることも分かりました。今後も養老線とまちの魅力を活かし、更なる回遊性の向上や地域の活性化に期待したいと思います。

参加者へのアンケートでは、「他の自治体の参考になりうる点がたくさん見受けられた」「講習で学んだ内容を実際に現地見学できて有意義であった」等の意見を多くいただきました。今後のWG活動の参考にしたいと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### Ⅲ.参加者アンケート結果

#### 1. アンケート概要

(1) 対象者 : 視察参加者 25 人

(2) 回収票数 : 19 人 (回収率 76%)

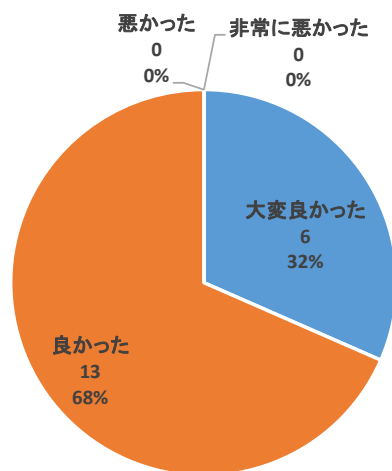
#### 2. アンケート結果

【問 満足度】

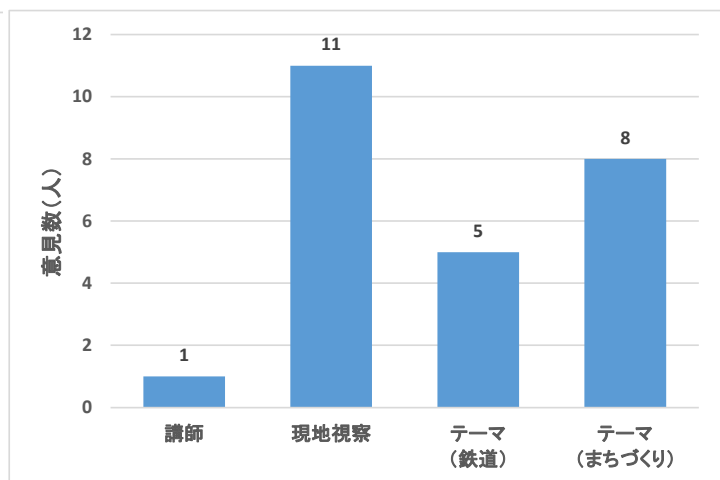
・「大変良かった」が 32%、「良かった」が 68%。回答者全員が満足。

【問 満足度の理由】

- ・現地視察を取り入れたことに対する満足度が高い。
- ・テーマでは、「まちづくり」は 8 人、「鉄道」は 5 人が満足。
- ・講師に対する満足な意見もあり。



グラフ：満足度



グラフ：満足度の理由

## ランドスケープWG

### I. 開催日程等

日 時：令和6年11月8日（金）9:30～12:30

場 所：見学：うめきた公園（グランフロント大阪）（大阪府大阪市）

講習：グランフロント大阪北館 11F 会議室

テーマ：うめきた公園の取り組み

講 師：株式会社大林組 大阪本店建築事業部  
プロジェクト推進第一部 村上 尚氏

参加者：30名（13社）

### II. 活動概要

ランドスケープ分野においても、都市と自然の融合を目指した先進的な取り組みが行われており、大阪市北区の梅田貨物駅跡地においては、『『みどり』と『イノベーション』の複合拠点』の実現を目指す大規模プロジェクトが動いております。その目玉となる都市の中心にありながら豊かな自然が楽しめる「うめきた公園」の見学・講習会を開催しました。

はじめにグランフロント大阪の入居希望者向けのPR動画を上映して頂き、開発区域全体の模型とビルの上からの「うめきた公園」全体を俯瞰した景観を見せて頂きました。



▲グランフロント大阪北館での講習会

講習会では、「うめきた公園」については、管理・維持管理を行う「一般社団法人うめきたMMO」の構成企業の一員である株式会社大林組の村上尚様より、プロジェクトの概要、開発の経緯、公園の特徴、大阪梅田のまちづくりにおけるうめきた公園の位置づけや、公園の作り方などの貴重なお話を頂きました。

コンセプト「MIDORI LIFE」の立案段階から、海外ランドスケープ・デザイン事務所（GGN）の起用によるアーバンデザインへの思いやランドスケープファーストでの提言によるデザインの具現化プロセスについて多くの知見を学ぶことができました。

また、構成企業（開発事業者）や関係機関との緊迫した折衝や苦心した点についてお話を頂きました。



▲グランフロント大阪北館からのうめきた公園全体の様子（左側：開園箇所、右側：整備中）

その後は、うめきた公園内を散策しながら、公園施設の特徴と設計意図、細部で工夫している点や苦心した点等についての説明を受けながら見学することができました。



▲地形を活かしながら高さ調整をした植栽



▲水盤のある芝生広場と大屋根



▲多様な使い方ができるデザインファニチャー



▲石工の繊細さを zoom で解説する村上氏



▲建物と調和を図る垂直性の植栽表現



▲集合写真（芝生広場&大屋根前）

参加者へのアンケートでは、「座学と現地見学のセットが良かった」「屋外での zoom 解説が聞き取りやすく良かった」として、大変満足度が高い結果となりました。特に「設計に対する思いや設計過程などの説明」「デザインの細かな考え方までの丁寧な説明」「設計思想を深く聞けた」等のご意見を頂きました。今後の WG 活動の参考にしたいと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

### Ⅲ.参加者アンケート結果

#### 1. アンケート概要

- (1) 対象者 : 視察参加者 30 人
- (2) 回収票数 : 23 人 (回収率 76%)

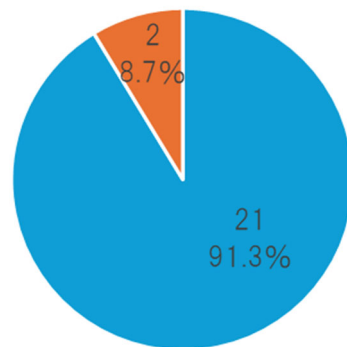
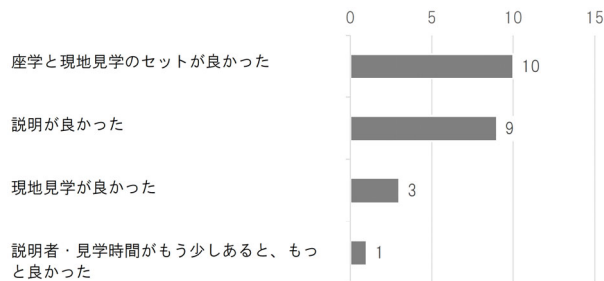
## 2. アンケート結果

### 【問 満足度と理由】

#### ○満足度

- ・大変良かった 91.3%、良かった 8.7%

#### ○理由

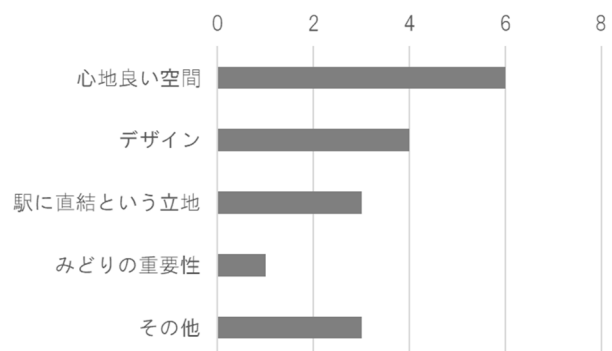


■ 大変良かった ■ 良かった

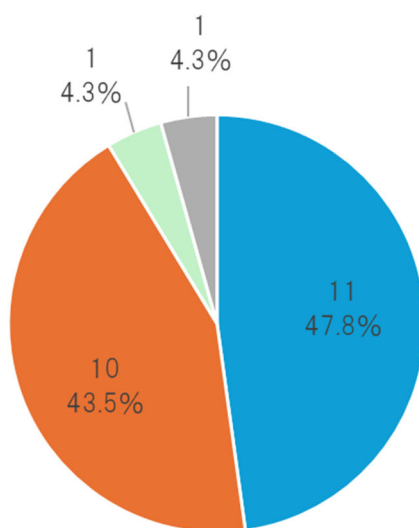
### 【問 特に利用者目線で魅力的だった点、興味をもった点】

#### <主な意見の概要>

- ・「駅直結、オフィス街に開放的で自由に過ごせる空間、気軽に座ることが出来るスペース」
- ・「アンジュレーション(S字の丘)に座った時の風景(子供が水景施設で遊ぶ姿、芝生広場、大屋根イベントスペース、都会のビル)」等



### 【問 新幹線を利用した遠方視察についてどう思いますか】



- 交通費が発生しているが、新幹線利用の視察でもよい
- 新幹線利用、マイクロバス利用のどちらでもよい
- マイクロバスで行ける範囲の視察の方がよい
- わからない

## ■参考1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型）

### 【委員会全体の講習会・見学会】

- H24：見学会 近江八幡市一水郷巡り、八幡重要伝統的建造物群保存地区
- H25：講習会「エリアマネジメント～街育ての担い手はだれ？」
- H28：講習会「人口減少が進む都市において中心市街地や郊外住宅団地の再生」  
「持続性を確保するにはどのようなまちづくりを進めるべきか」

### 【都市整備WG】

- H23：全体講習会「事前復興計画のススメ…この国の明日を紡ぐ」
- H23：講習会「名古屋港と産業防災」
- H24：見学会「中心市街地の昨日・今日・明日」（東海市、半田市）
- H25：講習会「リニア中央新幹線と名古屋」
- H25：見学会（交通WG合同開催）「公共交通及び歴史を活用したまちづくり視察」（恵那市）
- H26：講習会&見学会「伊勢河崎のまちづくり」「三重県防災拠点」（伊勢市）
- H27：講習会「歴史的視点から見た集約型都市構造とは？」（PART1、2）
- H28：講習会&見学会「縮小期のまちづくり（豊川稲荷表参道・御油のマツ並木）」（豊川市）
- H29：講習会&見学会「錦二丁目まちづくり協議会」（名古屋市中区）
- H30：講習会「公共空間の有効活用と都市のマネジメント・維持管理のあり方」
- R 1：講習会「スポンジ化した地域の面的再生等へ向けた取組事例」（山形県鶴岡市）
- R 2：講習会「スマートシティとこれからの都市計画：with/post コロナの都市像」
- R 3：講習会「活力のある都市をつくる」（岐阜市）
- R 4：講習会「ICT技術を活用したデータ収集とまちづくりへの活用」（名古屋市）
- R 5：講習会&見学会「再開発と商店街での連携による魅力的な都市空間の創出」（豊橋市）
- R 6：講習会&見学会「ネットワーク型コンパクトシティからまちづくりを学ぶ」（宇都宮市）

### 【交通WG】

- H23：全体見学会「りんご並木が美しい丘の上のまち飯田」のまちづくり（長野県飯田市）
- H24：講習会「自転車利用環境整備を考える」
- H25：見学会（都市整備WGと合同開催）
- H26：見学会「最新の安全対策技術情報及び施工事例について」（阿久比町）
- H27：講習会&見学会「交通環境の取組、東海道日永郷土資料館、あすなろう鉄道」（四日市市）
- H28：講習会「ビックデータの活用・可能性と展望」
- H29：講習会「自動運転が創る未来の都市交通のあり方」
- H30：講習会「道の駅をいかしたまちづくり・地域活性化と今後の展望」
- R 1：講習会「住みやすい都市空間デザインのための空間情報分析」（瀬戸市）
- R 2：講習会「技術者経歴50年の歩みと今後への提言」
- R 3：講習会&見学会「岡崎市 QURUWA 地区」（岡崎市）
- R 4：講習会「人、そして子供に優しいまちづくり・多様なデータを活用して」（名古屋市）
- R 5：講習会&見学会「最新の自動運転技術や都市交通への導入方法を学ぶ」（岐阜市）
- R 6：講習会&見学会「大垣市交通再編計画（養老鉄道、駅前周辺エリア）を学ぶ」（大垣市）

### 【ランドスケープWG】

- H23：見学会「土木学会デザイン賞受賞公園の設計コンセプトを学ぶ」（各務原市）
- H24：全体講習会&見学会 滋賀県近江八幡市での講習会・見学会（滋賀県近江八幡市）
- H24：見学会 H22 講習会講師による愛知県半田市の現地見学会（半田市）
- H25：見学会「あいちサトラボで里山づくり活動を学ぼう」（愛・地球博記念公園）
- H26：講習会&見学会「花フェスタ記念公園 指定管理者制度の現状と課題」（可児市）
- H27：講習会&見学会「公園における集客力を高める工夫を学ぶ」（刈谷市）  
講習会「全国都市緑化あいちフェアはどこまで造れたか」
- H28：講習会&見学会「官民連携による公園の集客力を高めた工夫（梅小路公園）」（京都市）
- H29：講習会&見学会「最新事例からランドスケープデザインを学ぶ」  
（草津川跡地公園・ラコリーナ近江八幡）」（滋賀県草津市、近江八幡市）
- H30：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」  
（太田川駅前どんでん広場）」（東海市）
- R 1：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」  
（天理駅前広場コフフン、道の駅レスティ唐古・鍵と史跡公園）」（奈良県天理市）
- R 2：講習会&見学会「コロナ禍で、我々が取り組むべきパブリックスペースの  
あり方について学ぶ（Hisaya-odori Park）」（名古屋市）
- R 3：講習会&見学会「小幡緑地 オバッターベッタ・ヤネル」（名古屋市）
- R 4：講習会&見学会「VISON 事業モデル・土ホインフラについて」（多気町）
- R 5：講習会&見学会「いなべ市のまちづくりの拠点とヒュッゲ」（いなべ市）
- R 6：講習会&見学会「うめきた公園の取り組み」（大阪市）

## ■参考 2：都市計画検討グループ会員・会社数及び各企画参加人数・会社数

○会員数・会社数一覧表

単位（会員：人、会社：社）

項目	令和5年度		令和6年度		増減 (R6-R5)	
	会員	会社	会員	会社	会員	会社
都市計画検討グループ会員	237	27	257	27	20	0
都市計画検討グループ総会&講習会	48	15	62	19	14	4
都市整備 WG（講習・見学会）	27	13	29	13	2	0
交通 WG（講習・見学会）	25	19	25	13	0	▲6
ランドスケープ WG（講習・見学会）	31	12	30	13	▲1	1
参加数（のべ）	131	59	131	59	15	▲1

※今年度の各 WG 活動は、すべて集合形式で実施しました。

昨年度も同様の集合形式でしたが、今年度は、若干、参加者が増加しました。

## おわりに

会員の皆様のご協力のもと、令和6年度の都市計画検討グループの活動も無事に終えることができ感謝しております。

今年度も、従来から実施している集合形式による現地見学会と講習会を実施しました。しかし、今年度は、これまでの見学会とは少し思考を変え、中部地方を中心に学んできた事例を、全国に展開させて学ぶこととしました。都市整備 WG は宇都宮市のネットワーク型コンパクトシティを、ランドスケープ WG は大阪市のうめきた公園の都市と自然の融合を目指した先進的な取り組みを学びました。普段なかなか行けない場所へ直接行くことにより、現地で1対1のスケールを肌感じてもらうことで、机上ではわからないことが見えてくるのではと思い実施しました。初めての土地で新しい事例をもとに他社の技術者と情報を共有し、意見を交わすことは、とても有意義であったと思っておりますが、参加された皆さんは、いかがでしたでしょうか？

来年度も集合形式での活動を基本としますが、WEB形式を併用するなど、状況に応じた対応を行い、改善に努めながら実施していきたいと考えています。

皆様の要望を踏まえ、「技術研鑽」、「技術者相互の交流」を目的に活動していきますので、令和7年度も、引き続き、よろしくお願いいたします！

都市計画たより 令和6年度版

発行日：2024年3月7日

発行者：都市計画委員会

■河村 和紀（委員長／㈱オオバ／野球・サッカー・テニス・スキー・ゴルフ・ボウリング）



- ・今年度は、委員の発案により、宇都宮市の LRT や大阪市のうめきた公園といった新幹線移動による WG 活動にチャレンジしましたが、いかがでしたでしょうか！？
- ・来年度も「同業他社の技術者との交流」により切磋琢磨し、中部のまちづくりに貢献できるよう、「魅力ある WG 活動」を企画するので、皆さん是非ご参加下さい！
- ・長年、委員を務めていただいた岡部副委員長と横井委員が今年度いっぱいまで退任されることになりました。本当にお疲れ様でした。委員一同、感謝申し上げます！

■岡部 好伸（副委員長／大同コンサルタンツ㈱／年中テニスをしています！）



- ・今年度をもって都市計画委員を退任することとなりました。
- ・2016 年から、委員を 3 年、副委員長を 6 年、務めさせていただきました。
- ・会員の皆様とは、講習会等をとおして様々なことを学びながら技術交流ができ、委員会活動では運営など多くのことが経験でき、とても充実した 9 年間でした。
- ・長年にわたりお力添えをいただいた皆様に感謝申し上げ、お会いできる日を楽しみにしております。ありがとうございました。

■藤本 隆史（副委員長／中央コンサルタンツ㈱／旅行・映画・野球・自転車・ゴルフ）



- ・副委員長を拝命して 1 年目、なんとか無事に終わりホっとしています。河村さん、岡部さん、そして委員の皆さまのおかげです。ありがとうございました。なんとんでも宇都宮での一泊二日、大変勉強になりました。餃子も最高でしたね。
- ・会社の垣根をこえた技術交流は、コンサルタントにとって欠かせないと思います。参加してくださった方は来年度も、参加できなかった方は来年度こそ、ぜひいらしてください。お会いできることを楽しみにしております！

■三島 理絵（都市整備 WG 長／㈱長大／旅行・写真・グルメ巡り・バス観戦）



- ・今年度は WG 長ということで自分に務まるだろうかと不安でしたが、都市整備 WG をはじめとする委員の皆さまのおかげで何とか一年務めることができました。
- ・例年、都市整備 WG では中部地方を視察地としてきましたが、今回は初となる関東地方（宇都宮市）で LRT とまちづくりを学ぶ見学会・講習会を交通 WG と合同で企画し、実現することができました。名古屋からは片道約 3 時間！参加いただいた会員の皆さま、ありがとうございました。来年度の企画にもぜひご期待ください。

■小林 良治（都市整備 WG／㈱国際開発コンサルタンツ／温泉巡り・夢の国）



- ・昨年の 7 月から建コン委員となりました。思った以上に大変な活動で、あっという間に 1 年が過ぎようとしています。
- ・宇都宮 LRT と都心部まちづくりの視察・見学が実現できてホっとしております。参加した皆さん有意義な時間を過ごされたでしょうか？
- ・来年も皆さんと楽しく交流できる企画提案をしていきますので、建コン活動へのご協力と積極的なご参加をお待ちしております。

※委員の氏名（所属ワーキンググループ／所属企業／趣味など）

■中島 慎一郎（都市整備 WG／中央コンサルタンツ(株)／スポーツ観戦・フェス・キャンプ）



- 今年度より委員会に参画させていただきました。中部地域を飛び出し、宇都宮市を舞台に視察・研修を行うという、委員会としても初めてのチャレンジな取組みの企画に携わったことは大変良い経験になりました。
- 来年度もWGメンバーのみなさまの“行ってみたい・聞いてみたい”の声を大切にしながら、都市計画技術者心をくすぐる視察・研修を企画していきます。ご協力・ご参加のほど、よろしくお願いいたします。

■横井 武志（都市整備 WG／大日コンサルタント(株)／喫茶店めぐり、アナログゲーム）



- 委員を務めて8年になりますが、今年の活動はディバートの導入や遠方での現地集見の見学会など、これまでで最もダイナミックなものになったと思っています。
- 私ごとですが、今年度をもって社内後任に委員を引き継ぐことになりました。同業の仲間と知恵を出し合い、企画を形にしていく時間は、日々の業務とは異なる学びと喜びがありました。ともに活動した委員の皆様、勉強会・見学会・その他の行事に参加いただいた皆様に感謝申し上げます。次の交流の機会を楽しみにしています。

■小森 俊文（交通 WG 長／(株)テイコク／サッカー・ゴルフ）



- 交通 WG は、都市整備 WG と合同で開催した宇都宮 LRT の見学会・講習会で十分かと思っていましたが、交通 WG 単独での開催も求められることとなり、テーマ選定に苦慮しました。そうした中、大垣市のご協力を得て、無事に講習会・見学会が開催できたことに安堵しております。
- 来年度は、応募者多数により、早期に申し込みが締め切られるような魅力的な見学会・講習会を企画できればと考えております。

■寺島 英樹（交通 WG／中日本建設コンサルタント(株)／ガジェット試し、お弁当づくり）



- 今年で委員が3年目となりました。毎回レベルアップしていく見学会の内容やそのプレゼンテーションに大変刺激を受けています。また、同業他社の皆様と忌憚なき交流ができ、大変貴重な場となっております。来年度は WG 長の予定。偶然か否か、地元の自治会でも組長の大役が回ってきました。片やコンサル業界の裏方、片や地元コミュニティの裏方ということで、マインドを同じくするためアタマが混乱することを懸念しておりますが、皆様のお役にたてますよう精一杯頑張っております。

■関 皓介（交通 WG／(株)片平新日本技研／散歩・旅行）



- 今年度もたくさんの方に WG 活動にご参加いただき、ありがとうございました。
- 私自身、都市整備 WG とランドスケープ WG への参加を逃してしまい、大変残念でしたが、交通 WG を通して WG 活動が技術者相互の貴重な交流の場となっていることを改めて実感しました。
- 来年度も「楽しく学びある WG 活動」となるよう、魅力的な企画ができればと考えております。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております！

※委員の氏名（所属ワーキンググループ／所属企業／趣味など）

■寺奥 淳（交通 WG／(株)建設技術研究所／野球・スポーツ観戦）



- ・建コン都市計画委員となって4年目。これまでいろいろな場所に行かせていただき、有識者による講習会や現場の見学会に参加してきました。
- ・今年はどうとう中部地方を飛び出し、宇都宮市まで足を延ばすことができました。新たなチャレンジでしたが、自身が専門とする交通について、さらに多くの学びを得ることができる貴重な機会となりました。
- ・委員の皆さんにとっても、多くの学びが得られる楽しい場であるとうれしいです。

■千葉 清護（ランドスケープ WG 長／パシフィックコンサルタンツ(株)／まちをブラブラ）



- ・R1年から建コン委員となり6年が過ぎ、とうとう、今年度よりWG長になってしまいました。都築さんのご尽力のおかげで、爆誕スポットである「うめきた公園」の見学・講習会を開催することができ、とても貴重な体験ができました。
- ・「技術」もさることながら、「いち利用者としての目線」も大事にして取り組んでいきたいです。ちなみに、写真は一宮市のまちなかをブラブラしていたときのものです。本好きの方々が集まるマーケットイベントを満喫させていただきました。

■望月 知洋（ランドスケープ WG／日本工営都市空間(株)／サウナー）



- ・昨年の7月から建コン委員となりました。はじめての経験ばかりで、ご迷惑をおかけしたと思いますので、来期は戦力になれるようにがんばりたいと思います。
- ・ディベートをしたり、見学・講習会に参加して、会社を超えた技術交流・懇親会？の必要性を改めて認識させて頂きました。
- ・まもなく、大阪・関西万博がはじまります。夏には、ジャングリア沖縄がオープンします。そんななか、次年度も建コン活動へのご協力をお願いいたします。

■都築 美波（ランドスケープ WG／日本工営(株)／音楽・散歩・食・スキー）



- ・今年度から建コン都市計画委員ランドスケープWGに所属させていただくこととなりました。自身が提案・参加した「うめきた公園」では、個人的には久しぶりに大学院時代の同期の活躍も垣間見れ、刺激になりました。また、交通WGにも参加させていただき、とても有意義な経験となりました。来年も各WGとも楽しみです。
- ・仕事以外の限られた時間をまだ家庭優先とせざるを得ず、同業他社の皆さんとの交流の場に全く参加できていないことが大変残念です。今年こそと思っています。

■浅井 広巳（ランドスケープ WG／(株)オリエンタルコンサルタンツ／旅行・トレッキング）



- ・都市整備&交通WGの「宇都宮市LRT」に参加し、実際に現場を見て、熱のある関係者の話を聴くことは、机上では得られない大きな意味があると再認識しました。
- ・GW活動は、技術や知見を広げることもさることながら、同業他社の皆さんと交流できることが非常に楽しく、自身の仕事への向き合い方を考えたり、やる気をチャージしたりする機会になります。会員の皆さんにも是非、参加いただきたいです。
- ・来年度も委員の皆さんと一緒に、「魅力ある企画」を出していければと思います。

※委員の氏名（所属ワーキンググループ／所属企業／趣味など）

————— 告 知 —————

令和7年度「都市計画検討グループ入会申込」が始まります。

（4月25日（金）～5月16日（金）の予定）

都市計画検討グループは令和7年度も、

『都市整備WG』・『交通WG』・『ランドスケープWG』

の3つのワーキング毎に会員を募集します。

委員一同、皆さんの申し込みをお待ちしています！

（申し込んだワーキング以外のワーキング活動の参加も可能です。）